

JBN REPORT

全国工務店協会

8月号
Vol.70
2022



◆第15期代議員総会報告

第15期の代議員総会が、6月22日(水)午後にタワーホール船堀で開催され、代議員48名に連携団体のオブザーバー14名を合わせた62名の参加となりました。

審議事項であった第14期事業報告(案)および第14期収支決算(案)に関する件が審議承認されました。さらに、役員改選に関して、任期満了に伴い「役員候補者選考規定」に基づく事前投票選挙によって、理事20名・監事3名が新たに選任され可決されました。

また、その他の事項として、事務局からは第15期事業計画および収支予算に関する件が、後関大会実行委員長からは創立15周年記念大会に関する件が報告され、議案のすべてを終了し、代議員総会は閉会となりました。

総会終了後に第15期第2回理事会が開催され、第15期の会長、副会長および常務理事が選定されました。



▶第15期代議員総会
▼第15期役員



【第15期役員名簿(理事以下50音順)】

役職	主たる所属連携団体名	氏名(敬称略)	備考
会長	埼玉木造建築協会	大野 年司	重任
副会長	(一社)山口県ビルダーズネットワーク	安成 信次	重任
	(一社)静岡木の家ネットワーク	松井 進	重任
	ぎふの木の住まい協議会	山田 貴敏	重任
	(一社)KKN	久原 英司	重任
	東京ビルダーズネットワーク	池田 浩和	重任
常務理事	東京ビルダーズネットワーク	玉置 敏子	重任
理事	(一社)神奈川県木造住宅協会	青木 哲也	重任
	鹿児島県優良住宅協会	有村 吉孝	新任
	(一社)山形県優良住宅協会	加藤 信芝	重任
	(一社)信州木造住宅協会	小林 稔政	新任
	(一社)東海木造住宅協会	鈴木 貴雄	重任
	東京ビルダーズネットワーク	鈴木 晴之	重任
	(一社)北海道ビルダーズ協会	武部 豊樹	重任
	ちば木造建築ネットワーク	竹脇 拓也	重任
	(一社)福岡県木造住宅協会	檀 洋一	重任
	茨城県中小建築工事業協会	二宮 正志	重任
監事	(一社)広島県工務店協会	橋本 英俊	新任
	京阪神木造住宅協議会	日置 尚文	重任
	(一社)富山県優良住宅協会	山下 輝雄	新任
	いえもりの会	後関 和之	重任
	(一社)宮崎県建築業協会	新町 吉男	重任
	(一社)香川県総合建設センター	村川 俊博	重任

◆セミナー開催報告

経営問題対策委員会セミナー // 6月29日(水)14:30~16:30 場所 ZOOMウェビナー+東京国際フォーラムG605 参加者 233名

数々の工務店と協働し、高価格帯への事業展開をサポートしてきた(株)連合設計社市谷建築事務所 代表取締役の戎居連太氏を講師にお迎えし、「高価格帯の設計営業セミナー」と題したセミナーを開催致しました。

セミナーでは、設計営業をするためには、設計力やデザイン力より人から好かれる能力が必要であると説明。スティーブ・ジョブズ氏の名言「いくら素晴らしいものを作っても、伝えなければ、ないと同じ」を引用し、設計だけして満足ではなく、設計したもののが価値を伝え、好きになってもらうことによって、お客様から共感を得られるとお話しいただきました。

ほかにも、興味を持ってもらっているとお客様に思っていたとき、信頼されるために、お客様の話を鵜呑みにせずに、お客様の目的に必ず隠れている理由を掘り下げていく「聞く力」。

国産材委員会セミナー // 7月5日(火) 場所 ZOOMウェビナー 参加者 160名

時代の変化に対してどのように舵取りをするのかの岐路に立つ地域に根ざした老舗材木屋が数多くあり、その未来は若手の後継者たちに委ねられています。今回のセミナーでは、野地木材工業(株)専務取締役 野地伸卓氏、フルタニランバー(株)代表取締役 古谷隆明氏、(株)小友木材店 代表取締役 小友康広氏をお呼びして、「木材産業の新時代 材木屋のインベーション戦略～シン・ザイモクヤ 若手後継者たちの挑戦～」と題し、生き残りをテーマとしたセミナーを開催しました。

最初に小友様が「世界で一番カッコいい木材店」を目指すための木材事業とITとエリアリノベを掛け合わせた戦略を紹介。ITではShopBotを使用した半完成品で一緒に商品を作ることで共感を生む活動を、エリアリノベでは閉館した百貨店を利用して花巻おもちゃ美術館を開館した結果、面白いことを行う姿勢が評判になり、ワークショップの依頼や木育空間の施工依頼が増えた事例を発表されました。

JBN正会員専用ページ内にて、期間限定で動画配信中

◆委員会報告

情報調査委員会 // 7月6日(水) 13:30~17:30 場所 JBN会議室およびオンライン 参加者 50名

委員会では6つの議題を議論しました。(一社)低炭素促進機構から、2050年カーボンニュートラル実現の普及支援事業である次世代ZEH+実証事業について、通常のZEH要件に加えた設備要件として太陽光発電システム、蓄電システム、V2H充電設備、燃料電池、太陽熱利用温水システムのいずれか1つ以上の選択が必要条件であることや補助額について説明いただきました。

国土交通省住宅局 住宅生産課 住宅性能表示・長期優良住宅担当係長福井様からは、長期優良住宅壁量規定見直し等についてお伺いしました。法改正の概要と、今後は良質な住宅が引き継がれる住宅循環システムの普及・定着を図り、脱炭素社会の実現にも貢献するための長期優良住宅認定基準や省エネルギー対策の強化の内容、壁量基準の見直しの詳細をお話しいただきました。

連携団体紹介

Introduction of associated groups

若い世代が結集し、ITを駆使して女性活用や材料の共有化を目指す

秋田杉匠の会

根 知宏 事務局長



秋田杉匠の会は、平成24年に設立された団体です。現在の会員数は15社。団体名にも冠される秋田杉の普及に向けて「ウッドファーストなあきたの住まいづくり促進事業」に参加するほか、JAS基準に準拠した地域材を流通させる仕組みを整備するといった活動を行っています。

もともと本団体は、職人団体である秋田県建設技能組合連合会内に作られた工務店グループということもあり、事務局長の根さんが力を入れていると話すのが人材育成。とりわけ女性職人の確保に積極的に取り組んでいます。

待遇面や仕事内容の男女差をなくす、紹介がメインだった従来の採用方法を見直し労働条件をクリアにしてハローワーク経由で求人を行う、といった改

善策を実行した結果、工業高校からの女性の職人希望者が着実に増加。このほか、行政と連携して女性用トイレや着替え場所の確保といった問題の改善も図っています。

「女性にとって魅力的な職場は、男性にとっても働きやすい環境であるはず」と根さん。こうした取り組みは、人手不足に悩む他の地方都市にとっても問題解決のヒントになりそうです。

また、本団体の特徴は2代目・3代目の若い経営者をメインに構成されていること。年2、3回の対面での講習会のほか、Zoomによる会議を毎月開催しています。「地方だからこそITの恩恵が大きい」と根さんは言いますが、秋田県は全国に先駆けてDX化に取り組んでいることもあり、団体でも情報共有

は極力電子化し、今後の取り組みにもITを活用していきたい意向です。

その1つが材料の共有化。昨今のウッドショックにより県産材の価格が上昇していることもあり、団体として共同で木材を購入し、在庫を見る化して会員社同士で融通し合う、といった仕組みを構築したい考えです。

職人の高齢化対策や女性職人のさらなる活用に向けて、パワーアシストツール等作業負担を軽減できる資材の導入も検討しているとのこと。規模が小さく若い世代が多いからこそ、問題を素早く共有し迅速に対応できることが大きな強みとなっています。

▶高校生ものづくりコンテストの開催も支援



工務店紹介

Introduction of construction companies

高性能な省エネルギー住宅を追求 「孫の代まで喜ばれる」家を目指す

有限会社 池田建築店

池田 佐保 社長



秋田県能代市にある池田建築店は1968年創業、現社長の池田さんは2代目になります。地場産材である秋田杉を多用しながら、高い省エネ性能を備える家づくりに定評があり、年間4棟程度の新築のほか断熱改修リフォームも多く手掛けています。

冬の寒さが厳しい秋田において「暖かい住宅を提供したい」と、先代(現会長)が高気密・高断熱住宅に取り組み始めたのは1980年代半ば。池田さんもその方針を受け継ぎ、2006年には自邸を「超省エネルギー住宅」として施工。この住宅は「第3回サステナブル住宅賞」国土交通大臣賞を受賞するなど、高く評価されました。

実験的な試みが多数盛り込まれたこ

の住宅の仕様も、現在では同社のスタンダードに。こうした省エネ住宅に惹かれた施主が、ホームページや口コミ経由で集まります。

「マニアックなお客さんが多いので」と池田さんは笑いますが、高性能かつ費用対効果に優れた家を施主とともにじっくり検討できる、Win-Winな関係が築けていることがうかがえます。

今後の課題は職人不足への対応。同社がある能代・山本地区には現在20代の大工が5名しかいないため、若い人に家づくりの仕事に魅力を感じてもらう仕組み作りができないか、地域の工務店とともに検討を始めています。

また同社の家づくりにおいても、性能と施工のしやすさを両立させるため1年

ごとに振り返りを実施。現在はウッドショックによる木材価格の上昇を受け、下地の木をなるべく使わない施工方法を模索するなど、自社物件の「標準」を進化させる取り組みを行っています。

さらに、高気密・高断熱の勉強会にも積極的に参加し知識をアップデート。思いを共有する同業者と交流できることも刺激になっているといいます。

研鑽に余念がない池田さんですが、一番の理想は「この家に住んで良かった、と孫の代まで言ってもらいたい」。顧客本位の姿勢が全ての行動の原動力になっているようです。



▶省エネのアイデアが盛り込まれた池田社長の自邸

◆総会基調講演報告

6月22日代議員総会終了後に、国土交通省住宅局宿本尚吾住宅生産課長より「今後の住宅政策と法律改正等について」と題して基調講演を行っていただきました。

講演の冒頭、5月31日にJBN・農林水産省・国土交通省の3者で締結された「建築大工等材育成と地域工務店等による国産材利用に関する建築物木材利用促進協定」の内容に触れられ、今後は構想の達成に向けてJBNと連携・協力することにより、取り組みを促進していくとのお話をありました。

また、2050年カーボンニュートラル実現に向けた抜本的な取り組みとして、長期優良住宅認定基準等見直し案の概要、長期優良住宅に係る壁量基準の見直し案に加えて、こどもみらい住宅支援事業の申請期限延長等住宅政策関連のご説明の後、住宅ストックの現状分析から見えてくる増加する空き家への行政対応や、木造住宅の担い手である大工就業者数の大変な減少の課題についても実態調査に基づいたお話をいただきました。

講演の最後に、住宅業界にとっては世帯数減少が進むこれから約5~10年が大きな市場の転機になるとして、JBNの事業活動に大きな期待を寄せていると締めくされました。



▶国土交通省住宅局 住宅生産課
宿本尚吾 課長による基調講演

一般社団法人JBN・全国工務店協会 創立15周年記念大会開催のお知らせ

右記の日程で開催することになりましたのでお知らせいたします。大会の詳細（日時、会場、スケジュール、開催内容等）はHPでご確認いただけます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



一般社団法人JBN・全国工務店協会 創立15周年記念大会 変化する時代と共に～地域工務店の「ちから」を未来へつなぐ～

【開催期日】2022年11月8日(火)午後・9日(水)

【開催場所】ロイヤルパークホテル（東京都中央区日本橋蛎殻町2丁目1番1号）

【プログラム】8日(火)：式典、基調講演、懇親会、展示会 / 9日(水)：分科会、展示会

セミナーーアーカイブのお知らせ

JBNがオンライン形式で開催した下記の講習会を、JBN正会員専用ページ内の「講習会オンライン動画アーカイブ」にて動画配信しております。

委員会主催セミナー

- JBN工務店の実務に役立つ木材の知識シリーズ
第5回 ウッドショック後のサプライチェーンを地域から考える
- 木を活かす!工務店が取り組む中大規模木造建築物シンポジウム
- JBN既存改修委員会「特別研修会」～地震対策と洪水対策～
- 建設キャリアアップシステム説明会

JBN関連事業者 会員コラボセミナー

- SEO対策・Web集客セミナー
- 動画運用で差が付く受注増加セミナー

その他

- こどもみらい住宅支援事業等の説明会

刊行物のご案内（刊行物のお申込みはJBNホームページをご覧ください。）



地域工務店の中大規模 木造建築事例集

A4版 43ページ

JBN会員による中大規模木造建築の事例をまとめました。福祉施設や事務所、店舗など合計34事例を紹介しています。



中大規模施工施工管理マニュアル&講習会アーカイブ動画の紹介

A4版 77ページ (正会員専用ページの動画アーカイブ: 2021.3.18にて)
動画および資料がご覧になれます。

JBNは国土交通省令と2年度環境・ストック活用推進事業の支援により、木造住宅を中心に事業展開する大工・工務店が新たに非住宅木造建築の分野に参入することを想定した、地域工務店向けの「中大規模木造建築物の施工管理マニュアル」を作成しております。PWAで整備されている「構造工事監理マニュアル」と併せて利用することにより、非住宅建築に求められる安全で高品質な木造建築物が我々の手で確実に施工されることを期待しています。

JBNはさまざまご相談（技術、法律、支援等）をお受けしております。

ホームページ（トップページの最下欄）のお問合せフォームをご利用いただくか、下記へお問合せください。



【発行・お問合せ】

一般社団法人JBN・全国工務店協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階

Tel.03-5540-6678 Fax.03-5540-6679 E-Mail:jbn@jbn-support.jp URL:<https://www.jbn-support.jp>